

豊かな農地を守るために ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物※）の 侵入・定着を防ぎましょう

※外来生物法で指定された、生態系や農林水産業に被害を及ぼす海外起源の生物。栽培・移動等は許可が必要。

ナガエツルノゲイトウ（ヒユ科）

学名： *Alternanthera philoxeroides* 長柄蔓野鶏頭

- ・ 南米原産の多年草
- ・ 河川や池で大群落を作り、水面をマット状に覆う
- ・ 茎がちぎれやすく、節や根から活発に再生して拡散しやすい
- ・ 各地で農業被害をもたらしている

農業被害の例



水利施設

水路を閉塞し
取水・排水を阻害



水田

農地に定着すると
減収の要因に



畦畔

刈払いによって繁茂

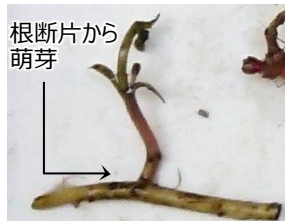


ナガエツルノゲイトウの特徴・見分け方

☑ 小さな断片から増殖



茎断片から萌芽



根断片から萌芽

☑ 夏から秋に開花

☑ 小さな白い花が球状に集まる

☑ 細長い花柄がある

☑ 花柄は葉の脇から伸びる



球状の花
直径1~1.5cm

1~4cmほどの
長い花柄

葉のつけねから伸びる

☑ 葉は対生



節から一対の葉

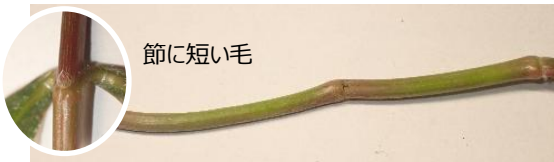
☑ 葉の先はやや尖る

☑ 先端に近い部分が（ストロー状）

最も幅広い



☑ 茎はなめらかで
ざらつかない



節に短い毛

間違えやすい植物

ツルノゲイトウ



・ 葉は中央付近が最も幅広い
・ 球状の花は葉のつけねに密着



タカサブロウ類



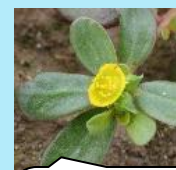
・ 茎に細かい毛
・ 葉の縁はぎざぎざ
・ 花は平たい



スベリヒユ



・ 葉の先は丸い
・ 葉は互生（交互につく）
・ 花は黄色



～ナガエツルノゲイトウの水田での防除～

水稻移植後に**ピラクロニル**含有剤と**フロルピラウキシフェンベンジル**含有剤を体系で処理することで、ナガエツルノゲイトウがまん延する水田で効果的に防除ができます。

本田内での有効な除草剤の散布事例

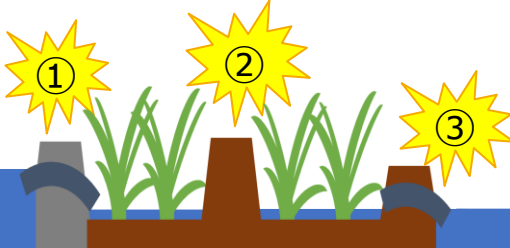
時期	ナガエツルノゲイトウ	除草剤散布体系 1	除草剤散布体系 2	作業上の注意
代かき*				丁寧な代かきで切断茎や根を小さくして完全に埋め込む
田植え	再生始	ピラクロン 1 キロ粒剤 (ピラクロニル粒剤)	バッチリLX1 キロ粒剤 (イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル・プロモブチド粒剤)	未侵入の圃場での作業を先に行う。侵入農地での作業後は泥落としなどの農機の洗浄を徹底する
田植え後 20日	草丈が2cm以下 草丈が5cm以下	ウィードコア1キロ粒剤 (フロルピラウキシフェンベンジル・ペノキススラム・ベンゾビシクロン粒剤)		
田植え後 40日	生育期 草丈が35cm以下		ロイヤント乳剤 (フロルピラウキシフェンベンジル乳剤)	
中干し*				* 落水時には水尻にザルを設置

ナガエツルノゲイトウに防除効果のある除草剤の有効成分を赤字で示しました。

～ナガエツルノゲイトウの侵入防止策～

ナガエツルノゲイトウの侵入が報告されている地域（環境省ウェブサイトなどで紹介）では、農地に侵入・定着させないよう、水利施設や水路、給水栓まわりなどをこまめに点検し早期発見に努めます。

侵入しやすい場所



① 給水栓

水と一緒に流入

給水栓口にネット袋等を取りつけ、ナガエツルノゲイトウ断片の侵入を防止



給水栓付近から定着



給水栓への収穫ネット取り付け例

回収したナガエツルノゲイトウは水気を切り、ゴミ袋に入れ固く口を結び、焼却処分してください（詳しくは地方環境事務所等にお問い合わせください）。

② 畦畔 刈払いで断片が拡散



除草剤中心の管理

茎葉処理型除草剤の効果的な散布時期は9月以降から霜が降りるまでの期間です。

↑ 刈払い管理でナガエツルノゲイトウが繁茂した畦畔

③ 農業用水路・貯水池

定着して次の拡散源に

遮光率100%の耐水シートを敷設



シート装着例

↑ 耐久性のあるシートを選んでください。



農水省ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアルはこちら



お問い合わせはこちら

外来種駆除活動には農林水産省の多面的機能支払交付金などが利用できます。市町村の担当窓口にご相談ください。農林水産省ウェブサイト「ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル」が公開されています。併せて参考にしてください。

（問い合わせ） 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 お問い合わせページ（右QRコードより）